

めでいかすとり

Medicastre

一般社団法人
鶴岡地区医師会
基本理念

鶴岡地区医師会は、地域住民の健康維持・増進と健やかな長寿社会の実現のために地域に貢献するとともに、医の心を忘れず知識と技術の向上をめざし、不断の研鑽に励みながら日々前進する組織をめざします。



「鶴岡公園の『あやめ』」

鶴岡地区医師会

令和 6 年 7 月号

令和6年度 鶴岡地区医師会 第1回 臨時総会

日時：令和6年4月22日(月) 19:00～
場所：鶴岡地区医師会館 3階講堂

1. 開会（堀内議長）

19時00分、令和6年度 一般社団法人鶴岡地区医師会 第1回臨時総会の開会を宣した。

2. 資格確認（土屋事務局長）

総会員の議決権数159名のうち、出席18名、委任状提出者87名、計105名

3. 会長あいさつ（福原会長）

本日はご多忙の中、令和6年度 一般社団法人鶴岡地区医師会 第1回臨時総会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。本臨時総会は、鶴岡地区医師会役員等任期満了に伴う改選の件、山形県医師会代議員及び同予備代議員選出の件の2議案についてご討議いただく予定でございます。新型コロナウイルス感染症は、昨年5月に5類相当となりましたが、その後も感染状況は続いており、昨年秋からはインフルエンザとの同時流行となりました。その他の感染症も数多く発生しており、感染症対策は今後も医師会として対応すべき重要事項と考えております。これからも会員の皆様には、ご理解・ご協力をよろしく願います。会員の高齢化や健康悪化による閉院などにより、医師会全体の総合力が減弱化していることは否めません。それに反し、健診や休日診療、学校医、施設の嘱託医や産業医活動など、地域から求められる仕事量が増加しており、それに応えることがだんだんと困難になってきております。今後は、休日夜間診療所の運営方針など、医師会として決断していかなければならない問題が山積しております。私たち役員一同できる限りのことをして参ったつもりであります。また、まだ足りない点があったと思います。今回は、昨年ご逝去された上野寿樹先生を除き、全員が今期も続投で努めさせていただき所存です。皆様には、是非、全員をご選任いただき、役員一同、また心新たに新年度から仕事をさせていただきます。役員候補

者の選任につき、慎重審議のうえご承認いただきますようお願い申し上げます。

4. 議事録署名人選出

議長より滝沢元先生、齋藤慎先生が指名された。

5. 議案

第1号議案 鶴岡地区医師会役員等任期満了に伴う改選の件

議長は理事、監事並びに議長及び副議長の改選について諮ったところ、賛成多数により次の者の選任が可決された。

理 事	武田 憲夫	三原 一郎
	蘆野 吉和	石原 良
	本田 学	吉田 宏
	福原 晶子	岡田 恒人
	鈴木 聡	須貝 孝一
	三浦 道治	渡邊 秀平
	菅原 真樹	中目 哲平
監 事	阿部 修一	木根淵智子
	真島 英太	
議 長	堀内 隆三	
副議長	三井 卓弥	

第2号議案 山形県医師会代議員および同予備代議員選出の件

議長は、山形県医師会代議員および同予備代議員の選出について諮ったところ、賛成多数により次の者の選任が可決された。

山形県医師会代議員

武田 憲夫	石原 良
福原 晶子	鈴木 聡
阿部 修一	菅原 真樹

山形県医師会予備代議員

三原 一郎	土田 兼史
蘆野 吉和	堀内 隆三
三浦 道治	中目 哲平

6. 報告事項

議長は報告事項の説明を求め、福原会長が報告した。

- ・山形県医師国民健康保険組合会議員について

福原 晶子 土田 兼史
 岡田 恒人 阿部 修一

- ・山形県医師信用組合総代について

福原 晶子 武田 憲夫
 土田 兼史 本田 学
 上野 欣一 齋藤 高志
 中村 秀幸 岡田 恒人

佐久間正幸 鈴木 正人
 ・山形県医師会協同組合総代について
 福原 晶子 土田 兼史
 中村 秀幸 岡田 恒人
 佐久間正幸

7. 協議

8. 閉会（堀内議長）

19時21分、令和6年度一般社団法人鶴岡地区医師会 第1回臨時総会の閉会を宣した。

令和6年度 鶴岡地区医師会 第2回 臨時総会

日時：令和6年5月9日(木) 19：00～
 場所：鶴岡地区医師会館 3階講堂

1. 開会（堀内議長）

19時00分、令和6年度一般社団法人鶴岡地区医師会 第2回臨時総会の開会を宣した。

2. 資格確認（土屋事務局長）

総会員の議決権数161名のうち、出席14名、委任状提出者84名、計98名

3. 会長あいさつ（福原会長）

本日はご多忙の中、タイトなスケジュールにもかかわらず、令和6年度一般社団法人鶴岡地区医師会 第2回臨時総会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。4月22日開催の第1回臨時総会におきまして、山形県医師会代議員および同予備代議員選出の件は、決議されたところで。今回、令和6年5月25日任期満了となる山形県医師会役員改選において、当会からの役員候補を、先日ご承認いただいた代議員の中から推薦する予定にしておりましたところ、県医師会役員は代議員を兼ねることが出来ないことがわかりました。そのため改めて代議員および予備代議員の選出について、お諮りする次第です。事前の確認に不備がございましたことを執行部、事務局から深くお詫び申し上げます。大変申し訳ありませんでした。なお、本日提出の議案・決議をもって県医師会へ報告するこ

といたします。ご審議の上、ご承認いただきますようよろしくお願い申し上げます。

4. 議事録署名人選出

議長より土田兼史先生、佐久間豊明先生が指名された。

5. 議案

第1号議案 山形県医師会代議員および同予備代議員選出の件

議長は、本年4月22日開催の令和6年度第1回臨時総会において決議された山形県医師会代議員選出および同予備代議員選出の件を改め、賛成多数により次の者の選出が可決された。

山形県医師会代議員

武田 憲夫 三原 一郎
 石原 良 福原 晶子
 阿部 修一 菅原 真樹

山形県医師会予備代議員

土田 兼史 蘆野 吉和
 堀内 隆三 吉田 宏
 三浦 道治 中目 哲平

6. 閉会（堀内議長）

19時07分、令和6年度一般社団法人鶴岡地区医師会 第2回臨時総会の閉会を宣した。

令和6年度 鶴岡地区医師会 第109回 定時総会

日時：令和6年6月14日(金) 19:00～
場所：鶴岡地区医師会館 3階講堂

1. 開会（堀内議長）

19時00分、令和6年度 鶴岡地区医師会第109回 定時総会の開会を宣した。

2. 資格確認（土屋事務局長）

総会員の議決権数162名のうち、出席25名、委任状提出者74名、計99名

3. 会長あいさつ（福原会長）

本日は、ご多用の中、またお暑い中、鶴岡地区医師会第109回定時総会にご出席賜りまして、誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症が5類相当となり1年が経過しましたが、いまだその影響は色濃く残っています。昨年秋からは、季節性インフルエンザとの同時流行もあり、年末年始にかけ、皆様には多大なご協力を頂きました。改めて御礼申し上げます。ただ、以前とは異なり、いくつかの感染症が同時に流行する、という状態で、つい最近も本地区において百日咳の発生があり、注意喚起を行っているところです。幸いなことに、医師会事業内でのクラスター発生はありませんでしたが、今後も各種感染症の発生には、地域全体で注意深く見守っていく必要があると思われます。会員の先生方には、平素より各種医師会事業に様々な形でご協力を賜り、感謝申し上げます。健診事業への協力、休日夜間診療所をはじめとする救急医療対応、学校医・園医、産業医、施設の嘱託医、警察検案業務など、多方面からの依頼が増え続ける中、日常診療を行いながらご協力を頂いており、感謝の念に堪えません。しかしながら会員の高齢化や体調不良による影響が、相変わらず払拭できない状況が続いており、それぞれの案件への対応は苦慮するばかりです。今後は、それぞれの取り組み方を検討し、いかに限られた医療資源で充実した結果を出す

ことができるのか、また、医師会活性化の観点から、若い年代の会員の皆さんのご意見も取り入れながら、次世代につながる医師会を目指して、活動していく所存です。医師会立事業会計については、順調な収益が見込まれたのは、健康管理センターのみとなりました。当初は受診者の減少を見込んでおりましたが、予想以上に受診者数が確保できたことやオプション検査が好調であったことがその要因と思われます。対して、他事業では、概ね減収傾向となりました。事業対象者の減少と、従事職員数の確保ができなかったことが主な要因と思われます。そんな中でも、職員の努力により、各種加算をもれなく算定し、診療単価を上げることで、特に、湯田川温泉リハビリテーション病院やみずばしょうでは、利用者の減少の影響を最低限に抑えることができたと思います。医師会全体では、減収減益の決算となり、正味財産の減少傾向は継続しています。先ほど述べたように、事業対象者の減少と職員数の充足ができていないことが大きな要因と思われますが、今後は、利用者には選ばれる医師会としての特色を生かした事業運営と、職員確保のためにも選ばれる組織としての充実を目指していきたいと考えております。本日は、これから、令和5年度の会務報告・公益目的支出計画実施報告、令和6年度事業計画・正味財産増減予算書の報告ののち、令和5年度決算承認の件、令和6年度会費賦課案につきご審議いただく予定です。事前配布資料も含め、担当理事の説明も簡略化し、わかりやすい説明を心がけております。慎重審議の上、ご承認賜りますよう、お願いいたします。

4. 議事録署名人選出

議長より滝沢元先生、齋藤慎先生が指名された。

5. 報告

はじめに、令和5年度に亡くなられた上野寿樹先生に追悼の意を表し、一同黙祷。

令和5年度会務報告、公益目的支出計画実施報告書について菅原副会長より報告があった。

令和5年度公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告について木根淵監事より報告があった。

令和6年度事業計画、正味財産増減予算書について菅原副会長より報告があった。

6. 議案

第1号議案 令和5年度 決算承認の件

各会計の事業計画実施報告および収支計算書について菅原副会長、石原副会長、本田理事、中目理事、武田理事より説明があった。

財務諸表について菅原副会長より説明があった。

小野俊孝先生より、「財務諸表に対する注記」10の満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益について、以下の通り質問があった。

1. これまで債券を所有した実績の有無について、今回取得した経緯について
2. 債券を取得するにあたり、適切と考えられる金額と債券の種類について
3. 資産管理規定などの決まりについて、取得の判断について、また監事のお考えも併せてお聞きしたい。

質問に対し、下記の通り菅原副会長より回答があった。

・質問1への回答

《債券所有実績の有無》平成14年から平成

21年までの間、満期保有目的債券として国債の運用の実績があり、最大で5億円ほど購入している。

《取得した経緯》資金運用は定期預金で行っていたが、定期預金よりも利回りが高いこと、また、ペイオフ対策を考慮した場合、地方銀行への定期預金よりもリスク低減が図れることから、佐藤公認会計士にも相談のうえ満期保有目的債券として運用することとし導入を進めることにした。

・質問2に対する回答

《適切な債券の種類》

《適切な債券の金額》令和5年度末時点においては、特定預金の約11%に相当する額を債券で運用している。資金計画の観点から満期時期が異なる県債4銘柄に分散し、満期前に債券を売却することが無いよう計画的に購入している。

・質問3に対する回答

《資産管理規定について》資産管理規定などは定めていないが、前述の考え方に基つき購入している。

《購入の判断について》令和5年3月の総務委員会にて、地方債での運用とし、利回り・満期時期の分散等を考慮し、購入を進めていくことに関して協議し、同月の理事会にて承認をしている。実際の購入の流れについては、良い銘柄があった際、事務局にて検討した銘柄について報告を受け、三役および総務副担当理事が承認をしてから注文をしている。

《満期保有目的債券一覧》令和6年3月31日現在における、満期保有目的債券はスライドの通り。なお、令和6年3月31日現在では評価損益がマイナスと表記されているが、満期まで保有すると購入時の金額（＝帳簿価額）で償還されるため損失になることはない。

質問3に対し、阿部監事より以下のとおり回答があった。

債券購入の目的について、今後当面支出する予定のない余剰資金を運用し、安定した金利収入があり、収益性の向上、医師会の経営面での安定化につながるものであること、債券運用に関する決定プロセスでは、総務委員会、理事会での承認を得ており、実際の購入については会長・副会長・総務副担当理事の承認を経ていることから問題ないものと考えている。リスク管理の面では、価格の変動はあるが、償還日まで保持しておけば額面通りの金額が戻ることとなっており、満期まで保有する目的で購入している。元本損失のリスクについては、発行体が債務不履行に陥らない限り金利や償還金は約束通り支払われるルールになっており、滋賀・広島・岐阜・三重の4県が発行している県債を購入している。この4県の県債を選んだ理由について、証券会社を取り扱っている銘柄リストの中から償還日までの残存年数の分散化と最終利回りの高さを考慮し当会の資金計画に合っている銘柄を選定している。地方公共団体である県が破綻する可能性は極めて低いものと考えられ、また、円建て債券であり為替リスクもないことなどからリスク管理の面でも問題がないものと考えている。また、利率について固定金利債か変動金利債か事務局に尋ねたところ、固定金利債ということでしたので安定した金利が確保されるものであり問題ないものと考えている。なお、今後、医師会として緊急に資金が必要になっても債券の中途売却につながらないように、資金計画については定期預金との構成割合や発行体の財政状況など定期的に点検を行いしっかりと管理し、年一回程度報告していただくようお願いしたい。

上記回答に対し、小野俊孝先生よりご意見を頂戴した。

今の回答について了解した。別にお願いが2点ある。1点目は資産の運用について、厚生労働省の作った法人のモデル定款がある。当会も定款に記載をする方がいいかどうか、ご検討いただきたい。定款に記

載をすることで、確実な有価証券まで範囲を広げることも場合によっては可能かと思う。2点目は、債券の運用で確実な有価証券まで案を広げるとした場合、会員や職員が個人的に関係している債券もあると思う。公平性を保つために信託会社などに外部委託する方法もご検討いただきたい。また、資産運用管理規定を作られた方がよろしいのではないかと思うので、あわせてご検討いただきたい。

上記の小野俊孝先生のご意見に対し、福原会長より回答があった。

当会の資産に関しては減少傾向にあるため、資産の運用は今後考えていくべきものだと思う。先生のご意見を参考にしながら運用規定・定款に組み込んでいくかどうか、外部委託するかどうか含めて検討してご報告させていただく。

議長は、令和5年度 決算承認の件について諮ったところ、賛成多数により承認された。

監査報告書について真島監事より報告があった。

第2号議案 令和6年度 会費賦課（案）承認の件

第2号議案 令和6年度 会費賦課（案）について三浦理事より説明があった。

議長は、令和6年度 会費賦課（案）承認の件について諮ったところ、賛成多数により承認された。

7. 協議

8. 閉会（堀内議長）

20時20分、令和6年度 鶴岡地区医師会 第109回 定時総会の閉会を宣した。

令和6年度 鶴岡地区医師会役員

会 長	福 原 晶 子				
副会長	石 原 良	菅 原 真 樹			
理 事	武 田 憲 夫	三 原 一 郎	蘆 野 吉 和	本 田 学	
	吉 田 宏	岡 田 恒 人	鈴 木 聡	須 貝 孝 一	
	三 浦 道 治	渡 邊 秀 平	中 目 哲 平		
監 事	阿 部 周 市	木根淵 智子	真 島 英 太		
議 長	堀 内 隆 三				
副議長	三 井 卓 弥				



会長挨拶

一般社団法人 鶴岡地区医師会
会長 福原 晶子

この度、6月14日開催の第109回鶴岡地区医師会定時総会後の臨時理事会におきまして、鶴岡地区医師会会長に選任頂きました福原晶子です。今回、3期目となり、改めてその職責の重さを実感し身の引き締まる思いです。これまでの4年間は、そのほとんどが新型コロナウイルス感染症対応に追われ、数多くの諸問題を抱えながら、なかなか対策を講じることができずに、やや不完全燃焼で終わった感があります。そのため、これからの2年間は、将来に向け問題を少しでも改善あるいは解決できるよう努めていきたいと思っております。

医師会の抱えている諸問題は、概ね、会員の高齢化や会員の減少に伴う面が多く、医師会事業への協力が困難になってきていることに尽きると思っております。各種健診への協力、学校医・園医や施設の嘱託医、産業医活動、警察検案業務など、現在でもギリギリの体制で行っており、今後、辞退者が出たり新たな要望があっても、

なかなかすぐには対応できない状況です。また、休日夜間診療所を含めた地域の救急医療体制については、荘内病院の救急外来の状況や行政の考え方などを踏まえながら、今後の体制の検討が必要です。会員の皆様方には、更なるご支援を賜りたく存じます。

医師会事業に目を向けると、利用者の減少への対策と職員数の確保が安定した運営に不可欠です。なかには、不採算部門と言える事業もありますが、公益事業であることを考え、一概に整理できるわけではありません。今後は、業績の内容やその設立趣旨なども勘案し、より効率的な運営を今まで以上に心がけていく必要があります。

地域の皆様に安心・安全な医療を提供し、選ばれる組織としての医師会を目指して、今後も邁進してまいります。会員の皆様や職員の皆様方のご協力なくして達成することはできません。今後どうぞよろしくお願い申し上げます。

観桜会、病・医院永年勤続者表彰式

日時：令和6年6月28日(金) 19:00～
場所：ベルナール鶴岡

【永年勤続者表彰受賞者】

わかな内科医院 阿部 里美さん
わかな内科医院 鈴木 節さん
わかな内科医院 渡部 洋子さん
わかな内科医院 成田 洋子さん
すこやかレディースクリニック 石向 千香子さん

いとうクリニック 工藤 舞子さん
犬塚医院 須藤 亮子さん
よこやま皮膚科医院 成田 さつさん
鶴岡地区医師会 橋 慎太郎さん
鶴岡地区医師会 工藤 智美さん

去る6月28日(金)、観桜会、病・医院永年勤続者表彰式がベルナール鶴岡で開催されました。進行役の三浦道治理事の開会宣言に続き、福原晶子会長より定時総会が無事に終了したことへの御礼と3期目となる会長就任の件を含めご挨拶がありました。

その後、永年勤続者表彰式では長年勤務され、地域医療に貢献された10名(欠席2名)の方に、その功績を称え福原会長から表彰状と記念品が贈呈されました。受賞者を代表して、わかな内科医院 阿部里美様から謝辞をいただきましたが、その中でSNS全盛時代の日常をおもしろく紹介していただきました。これまでも様々な時代の波を楽しみながら乗り越えて仕事に従事されてきたのだろうと想像すると共に、従業員の皆様の懐の広さとパワーを感じる、とても力強く感動的なスピーチでした。

引き続き、新たに当地区医師会会員になられた8名の先生のご紹介があり、当日はみなみまちクリニック 竹田文洋先生、湯田川温泉リハビリテーション病院 野口健一先生の2名がご出席され、ご挨拶を賜りました。

石原副会長の乾杯の発声で宴は始まりましたが、石原副会長からは乾杯前にこの観桜会の歴史をわかりやすく紹介していただき、開催時期や形を変え今回30回目を数えるとのことで鶴岡地区医師会の歴史の深さを実感しました。

お祝いのムードの中、楽しい歓談のひとつきを過ごし、最後は菅原真樹副会長のご挨拶で閉会となりました。

荘内地区健康管理センター 保健企画課 課長 佐藤 洋介

新入会員



竹田 文洋 先生



野口 健一 先生



謝 辞

本日は、私たちのために永年勤続表彰の場をこのように設けていただきありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

ここに居ます10名は、それぞれの医療機関で切磋琢磨し、この場に立てたことを光栄に思います。私はと言いますと、気が付けば同じスタッフと共に長い年月、わかな内科医院に勤務させていただき永年勤続表彰を全員でいただくことが出来ました。この日を迎えることが出来たのも院長の松浦優先生はじめ、今まで出会った方々の御指導、御支援のお陰であると大変感謝いたしております。今は、SNSの時代でもあり、わかな内科医院の口コミにはスタッフが全員、年配者と書き込みがありこれもまた現実とポジティブに受け取り、本日のことと合わせて今後の仕事のモチベーションにしたいと思えます。

本日は、誠にありがとうございました。

医療法人わかな内科医院 阿部 里美



鶴岡地区医師会勉強会抄録

日時：令和6年6月21日(金) 19:00～

場所：鶴岡地区医師会館 3階講堂



『人口減少時代の地域医療教育： リベラルアーツを通じた若手医師の育成』

鳥取大学医学部地域医療学講座

准教授 孫 大輔 先生

2010年に日本学術会議は「提言：21世紀の教養と教養教育」の中で、グローバル化や知の地殻変動を背景に、これからの時代にはリベラルアーツ教育が決定的に重要となることを説いた。リベラルアーツとはラテン語の「humanitas (フマニタス)」、すなわち人間が人間たるゆえんのものを指しており、人間の精神を「自由」にするものを意味する。リベラルアーツあるいは人文学・哲学の知は、医学教育においても重要性を増している。令和4年度改訂版医学教育モデル・コア・カリキュラムにおいて「PR-03 教養」が挙げられており、「答えのない問いについて考え続ける」ことが学修目標として明記された。これは「ネガティブ・ケイパビリティ (消極的能力)」とも呼ばれており、あいまいで不確実なものや未解決なものを受容する能力を指す。プライマリ・ケアは、人間の「生活世界」とその行為にかかわる実践であり、その人間の相互行為の「意味」を理解し、より深い人間観を構築するために人文学の知は必須である。

演者はこれまで医学生や研修医・専攻医に対して、さまざまなリベラルアーツ教育を実践してきた。鳥取大学医学科4年で行われる「地域医療体験実習」では、文化人類学の手法を応用し、学生が地域医療の現場に参与観察する中で「問い」を生成する。また、その「問い」の理由を考えることで、学生は自分の中の「当たり前 (前提)」を問い直し、自己・自文化を相対化する視点を獲得する。映画・映像を用いた医学教育である「シネメデュケーション (cinemeducation)」もリベラルアーツ教育

の例である。シネメデュケーションは、学習者の感情に働きかけ、登場人物に「感情移入 (共感)」を起こさせることができる。シネメデュケーションは、共感・倫理観・プロフェッショナルリズムの教育に役立つ。演者は既存の映画の一部や、演者自身が制作した短篇映画を用い、授業に取り入れている。映画を見せた後、学習者に「問い」を投げかけ討議させる。これによりネガティブ・ケイパビリティや他者への「共感」を養うことを目的とする。

また演者は、地域の人々と協働する実践においてリベラルアーツを用いる試みも行なっている。現在、地域で孤独・孤立などの社会的困難を抱えた人に対して医療者が積極的に関わる「社会的処方」を国が推進している。これにならない、文化・アートを活用し、人々のウェルビーイングを支える実践は「文化的処方」と呼ばれる。演者は地域の人々と協働して映画を制作するという活動を2018年から始め、2020年に東京から鳥取に拠点を移した後も、地域における映画制作を継続している。地域において地域と協働することで映画を制作し、また地域で上映会と対話の会を行うことにより、住民の意識啓発や死生観の問い直しが可能となる。またこのような文化的処方の活動に若き医療者に参加してもらうことで、彼らの「地域志向性」を養うことも可能となる。来たるべき人口減少時代において、地域社会・コミュニティへのまなごしを養うことはますます重要な課題となる。そのためにも、リベラルアーツによる地域医療教育は大きな可能性を有すると考える。

山形県学校保健連合会学校保健功労者表彰

この度 栄えある表彰を受けられました。誠にありがとうございます。

長年にわたり地域の学校保健業務にご尽力された功績が認められ、山形県学校保健連合会より表彰されました。（11月22日表彰）

鶴岡市立荘内病院 五十嵐 敬郎 先生

令和 6 年 1 月号にお名前を掲載すべきところ、掲載漏れがありました。ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

新入会員紹介

～令和 6 年 5 月 1 日入会～

①氏名 ②生年月日 ③生まれた所・育った所 ④勤務先・診療科目
⑤出身校 ⑥趣味・特技 ⑦鶴岡地区医師会会員の皆さんへ一言



- ① 野 口 健 一
- ② 昭和34（1959）年 8 月 31 日
- ③ 茨城県水海道（現・常総）市
- ④ 湯田川温泉リハビリテーション病院・内科
- ⑤ 千葉大学（昭和59年卒）、水海道第一高等学校
- ⑥ 剣道 3 段、中学生の時、ブラスバンドでトランペットを吹いていました。今は小さなホラを吹くのみです。
- ⑦ 初心に帰って、地域医療に取り組む覚悟です。御指導を宜しく願いたします。

医師会ニューフェイス

①氏名 ②所属 ③趣味・特技 ④ひとこと

～令和 6 年 6 月 1 日採用～



- ① 小 野 佑 菜
- ② 荘内地区健康管理センター
臨床検査課 臨床検査技師
- ③ 旅行・お菓子作り
- ④ 明るく前向きに仕事に取り組みます。新しい業務内容への挑戦ですが、精一杯がんばります。よろしく願いたします。



- ① 佐 藤 香 菜
- ② 湯田川温泉リハビリテーション病院
看護課 看護師
- ③ 旅行・ドライブ
- ④ 患者様に寄り添い、明るく精一杯頑張ります。よろしく願いたします。

～令和 6 年 7 月 1 日採用～



- ① 畠 山 優 輝
- ② 介護老人保健施設みずばしょう
療養課 介護員
- ③ 音楽を聴くこと、ゲームをすること
- ④ 分からないことが多いですが、精一杯頑張りたいと思うので、よろしく願いたします。

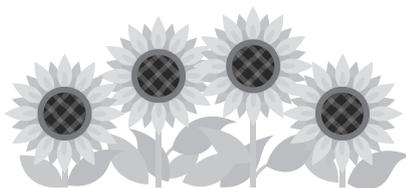


表 紙

「鶴岡公園の『あやめ』」

齋藤 慎

英語でアイリス (iris)。iris が菖蒲、かきつばた、あやめのどれを指すのか解らない。目・科・属・種のどの辺りなのでしょうかね？

あやめは花の付根に網目模様があるとの事ですが、鶴岡公園で撮ったこの写真はあやめコーナーにあったのであやめだと思いますが。網目が？

花言葉は「良い便り」「メッセージ」「希望」他に沢山あるようです。

編 集 後 記

本格的な暑さを迎えお変わりなくお過ごしでしょうか。

このたび、鶴岡地区医師会副会長の2期目を務めることとなりました。重責に身が引き締まる思いを新たにしております。引き続き地域医療の発展のために精進していきたいと存じます。何卒宜しくお願い致します。

さて、話は変わりますが、私には二人の子供がいます。陸上部に所属する息子は、中学3年生となり最終学年を迎えました。無事地区総体で優勝し、上位大会に進出することとなりましたが、今年例年以上に暑さとの戦いとなりそうです。熱中症アラートが出された際には大会が中止になり、走ることなく引退となる可能性が案内されています。地球温暖化は世界的な問題であり、イスラム教の聖地であるメッカでは50度を超える日もあったことから、大巡礼で死者が相次いでいるようです。健康第一は言うまでもないことですが、保護者としては大会自体が中止となることがないように祈るばかりです。

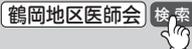
そして、高校3年生の娘は、致道館高校の1期生となります。母校である鶴岡南高校が無くなったことは寂しい限りですが、少子化に歯止めがきかない現状では致し方ありません。2023年の出生者数は前年比4.3万人減少し、過去最低水準を更新しました。また、合計特殊出生率（一人の女性が一生の間に産む子供の人数）も1.20とさらに低下しています。政府は、少子化対策として様々な具体的政策を打ち出しており、今後が期待されるようです。

(菅原 真樹)

編集委員：菅原真樹・吉田 宏・阿部周市・三井卓弥・真島英太・中目哲平

発行所：一般社団法人鶴岡地区医師会 山形県鶴岡市馬場町1-34

TEL 0235-22-0136 FAX 0235-25-0772 E-mail ishikai@tsuruoka-med.jp

ホームページにも掲載しております  URL <https://www.tsuruoka-med.jp>